

自己評価公表シート

令和2年度 社会福祉法人徳風会

(実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1、本園の保育目標

健康で安全な暮らしのできる子 自分のことは自分でできる子
友達と仲良く遊べる子 自分から進んで取り組み工夫する子 心情豊かな子

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

すべての課題の基となる人材の確保
保育の質の確保のための人材の育成
勤務環境改善に向けての業務の削減

3、評価項目と取り組みの状況

評価項目	取り組み状況
保育計画の計画・実施に関して、保育士間の共通理解を持つ	保育目標のもと、保育の計画に当たっている。 学年別会議等で共通理解を持つよう努めている
子どもの姿を的確につかみ、保育に活かす	子どもの生活の実態に合わせ保育を行っている。 リハセンター等の助言を受けている。
教育の質の向上のために、様々な研修に参加する。また、園内研修を実施する	県・市が行う研修に可能な限り参加する。 各年齢別の会議、給食会議等を行なっている。
保護者の思いの把握に努め、適切に対応する。	保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善すべきことについては対応をしている。保護者参加の行事等で、園の考えを伝えるよう努めている。

4、項目別の評価の集計

* 評価を行い、上記のような結果が出た。具体的には、下記のような意見が出された。

項目	よくできている	まあまあできている	あまりできていない	できていない
保育の計画性・共通理解	33%	67%		
計画に基づく保育の実施	17%	50%	33%	
計画・実施の反省・評価	33%	67%		
子どもの姿の把握	50%	50%		
保護者とのかかわり	50%	50%		
関係機関とのかかわり	17%	33%		50%
研修への参加・実施	33%	17%		50%

5、今後取り組むべき課題と、取り組みの成果

項 目	具体的な課題の内容
保育計画の計画・実施 に関して、保育士間の 共通理解を持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の練習や日々行うべき活動以外で行ってみたい活動や製作が多くあったが、保育の計画性や準備力が欠けていたため、年度内に全てを試すことが出来なかった。もう少し周りに頼ったり相談することで、十分な日程を設け準備し、実行できたのではないと思う。この反省を、今後の保育に活かしていきたい。 ・保育計画は立てられているが、計画通りに実施できたことは少なかったように思う。日々の保育の中で、計画・ねらいを意識しながら子ども関わらなければならないと感じた。 ・新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で様々な制限があったが、日々の活動内容を工夫し実施したため、安定した園生活を出来たのではないと思う。 ・子どもの様子などで心配なことがあった時には他の職員に相談したり、機会があった時に関係機関に相談したりして、一人で悩まず、一緒に考えてもらうようにした。 ・クラス内での取り組みに関しては、子どもの育ちを踏まえて計画、そして実施することが出来ていたと思う。 ・日々の活動内容は、子どもの出席人数、体調等を考慮することが多かった為、計画的に進まないこともあり当日準備をするなど計画性に欠ける時もあった。臨機応変に対応しつつ、計画的に準備を進められるように早めの行動を心掛けていきたい。
子どもの姿を的確に つかみ、保育に活かす	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの成長とともに自分で出来るが増え、身の回りの物の準備や、箸の練習など個々の様子に合わせて行うようにした。無理なく取り組めたことで、子どもたちの意欲に繋がったと思う。
教育の質の向上のため に、様々な研修に参 加する。また、園内研 修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務に追われ、研修に参加する等を通して知識を深めるには至らなかったことが反省点である。今後は、自発的に研修等に参加する機会を作り、日々の保育に活かしていきたい。
保護者の思いの把握 に努め、適切に対応す る。	<ul style="list-style-type: none"> ・一年を通して保護者との信頼関係を築く大切さや、子どもの様子をこまめに伝える大事さを身を持って経験出来た為、今後も子どもだけでなく保護者も安心出来るよう、保護者と適度にコミュニケーションを取ったり、園での様子等を伝えていけるようにしたい。 ・保護者へ子どもの日常の様子をよく伝えるようにし、信頼関係を築きながらいろいろと相談できる関係作りを心掛けたい。 ・保護者の方とは、連絡ノートの記入でのやり取りや、送迎時に声を掛けることで子どもの様子を共有した。
その他	

6、次年度に向けて

各クラス、各保育士は、限られた環境の中で懸命に保育に取り組んでいることが分かる。園長として、じっくりと余裕を持って保育に臨む、課題に取り組む時間が取れるような環境整備を出来るだけすすめていきたい。また、長く課題である正規職員の安定的な採用、育成という根本的な課題を解決できるよう、次年度も取り組みたい。

また、長く働くことが出来る職場環境の整備にも取り組みたい。